




DUAL CHANNEL LIMITER

— **UR-76S** —

INSTRUCTION MANUAL

この度はアドギア製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

ご使用前に、必ずお読みください。

 安全にご使用頂くため、次の事を必ずお守りください。

1. 設置に関して

1-1. 設置環境



- 引火性の気体あるいは液体のそばには設置しないでください。スイッチ等の操作で火花が飛んで火災が起こる危険性があります。
- また、腐食性の気体あるいは液体のそばには設置しないでください。腐食により、絶縁不良を起し、機器故障、火災の原因になります。
- その他仕様で定められた環境に於てご使用ください。

1-2. ラックマウント



- ラックマウントする時は、特別の規定が無い限り5mmのISOネジを使用し、それに合ったドライバーを使用して、取り付けてください。5kgを越える機器を取り付ける時は、二人で作業し、一人はラック後面から機器を支えてください。
- 4本の取り付けネジはラックイヤーの下側のネジから取り付けてください。それ以外の方法で取り付けると、怪我をする場合があります。

1-3. 供給電源電圧の確認



- 日本国内向けのアドギア製品の供給電源電圧は特別の仕様でない限りAC100V±10%となっています。これ以外の電圧が加えられますと正常に動作しないばかりか、機器の故障あるいは火災の危険があります。
- 必ず規定の電圧を供給してください。
- DC電源仕様機器の場合は規定の直流電源を正しい極性で供給してください。
- DC電源仕様の機器にAC（交流）電源を供給すると機器の故障や火災の原因になりますので絶対にこの様な事はしないでください。

1-4. 電源供給



- 電源プラグをコンセントに差し込む時は本体の電源スイッチがOFFになっている事を確認してから差し込んでください。電源スイッチがONになったまま電源プラグを差し込むと、操作スイッチやボリウムの設定によっては接続されている機器の故障を招いたり予期せぬ動作により怪我あるいは死亡事故の原因になる危険性があります。

1-5. 機器カバーを外して内部の設定をする時



- 内部にある設定スイッチを操作する等、機器カバーを外さなければならなくなった時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 電源プラグを差したまま作業をすると、機器故障の原因になるばかりでなく感電等で火傷を負ったり電気ショックにより死亡する危険性もあります。
- 尚、この時電源のコンデンサーに電荷が残っている場合がありますので電源OFF直後のこの様な作業はやらないでください。（コンデンサーの放電を待つ為最低3分必要です）

2. 運用中の安全確認

2-1. 電源プラグの清掃



- 電源プラグ付近に埃が溜まるとその埃が湿気を吸って短絡し、火災の原因になる恐れがあります。定期的に点検清掃を行ってください。点検間隔は設置環境によります。

3. 保守における安全確保



3-1.

[1. 設置に際して] の注意がそのまま適応されます。

3-2. その他

- 機器をラックから取り外す時は電源プラグをコンセントから抜いた後、行ってください。また、ラックマウントねじを外す順番は、上のねじから先に外してください。5kgを越える機器は二人で作業し、必ず一人は機器を支えてください。

CONTENTS

GENERAL.....	4
SPECIAL FEATURE.....	4
OPERATION	5
■FRONT PANEL	5
1. INPUT·A·B.....	5
2. OUTPUT·A·B	5
3. LIMITER-IN·OUT	5
4. ATTACK	5
5. RELEASE	5
6. RATIO (20:1 12:1 8:1 4:1)	5
7. CHANNEL A·B VU METER	6
8. CHANNEL A·B GR メーター0VU アジャスト.....	6
9. METER スイッチ	6
10. LINK	6
11. POWER	6
■REAR PANEL	7
12. INPUT·A·B.....	7
13. VU CALIBRATION	7
14. OUTPUT·A·B.....	7
15. GND	8
16. FUSE.....	8
17. AC INPUT.....	8
BLOCK DIAGRAM.....	9
TECHNICAL SPECIFICATIONS	10
LIMITER CHARACTERISTIC	11
APPEARANCE	12

GENERAL

UR-76Sは、可変ゲイン素子にFETを使用したデュアルチャンネルピークリミッターです。

入出力レベル調整は、A・Bチャンネルとも、それぞれ単独で調整できます。アタック及びリリースタイムはA・B連動しています。

見やすい大型の自照式VUメーターは、一般的な出力レベル及びゲインリダクションの他、入力レベルも表示可能で、セッティング時の操作性が向上しています。また、メーターの振れを6dB低くする“-6dB”スイッチをリアパネルに装備し、基準レベルを高め、セッティングする場合、VUメーターの振れ過ぎを抑える事が可能です。

入力回路には電源電圧±24Vのディスクリートアンプを使用し、+30dBu入力まで対応できます。(LIM動作時)

また、半導体を選別する事で、基準レベルに対しS/N比80dB以上のローノイズを達成しました。レコーディングスタジオ・放送局等に最適の高音質をお届けします。

SPECIAL FEATURE

ゲインコントロールにFETを使用

FETを可変抵抗素子として使用しているため、スピーディーかつ自然な音質のレベル制御が可能です。

入力回路はディスクリートアンプによる電子バランス

入力回路には電源電圧±24Vのディスクリートアンプを使用していますので、トランスやオペアンプ使用のものより過大入力に強く、低歪率で高音質です。

VUメーターは出力レベル・ゲインリダクションに加え、入力レベルも表示

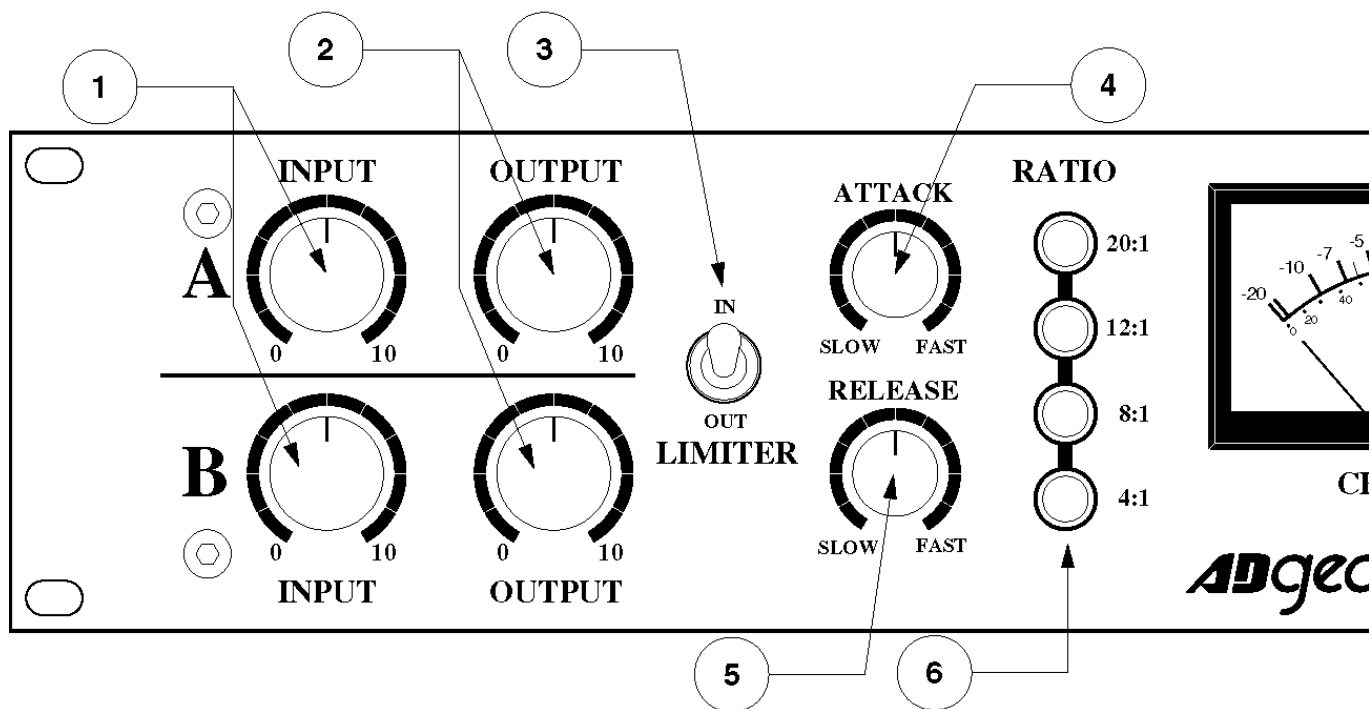
VUメーターは、ゲインリダクション表示及び出力レベルの表示の他、入力レベル表示も切替可能なため、INPUTレベル及びOUTPUTレベルの確認、設定がしやすくなっています。

A・Bステレオリンク時の連動誤差は最小

A・Bチャンネルの単独使用及びステレオ対応使用に対して、それぞれの特性をできる限り近いものに調整しています。またLINK時の連動誤差も最小になるように調整(連動誤差1dB以内)してありますので、ステレオ使用時も安心してご使用いただけます。

OPERATION

FRONT PANEL



1. INPUT-A・B

A・B チャンネルの入力レベル調整です。リミッター動作時には、リミッターが動作を開始するスレッシュホールドレベルを調整します。ツマミを時計回りにまわしていくとリミッターが低い入力レベルで動作を開始し、逆にセンター位置より反時計回りにまわしていくと高い入力レベルで動作を開始します。
RATIO 20:1 においてこのツマミがセンター位置 (12 時の位置) にある場合、入力 0dBu で動作を開始します。

2. OUTPUT-A・B

A・B チャンネルの出力レベル調整です。リミッター動作時には、圧縮され相対的に下がったレベルを、出力が最適になるように調整します。ツマミを時計回りにまわしていくと出力レベルが大きくなります。基準位置はセンター位置 (12 時の位置) で VU メーターが 0VU の時 +4dBu です。また“10”の位置で最大 15dB 出力を上げることが可能です。

3. LIMITER-IN・OUT

リミッターの動作スイッチで IN でリミッターが動作し、OUT にすると動作しません。但し、バイパススイッチではありません。OUT 時でも信号はリミッター回路を通過しているので、INPUT・OUTPUT のレベル調整は動作します。(FET の可変素子が動作しない状態です)

4. ATTACK

アタックタイム用ボリュームです。リミッターの動作開始までの時間を調整します。時計回りにまわすと動作時間が早くなります。(FAST 150 μ sec/90%)
また、反時計回りにまわすと動作時間が遅くなります。(SLOW 2msec/90%)
使用するプログラムにより最適な位置に調整してください。

5. RELEASE

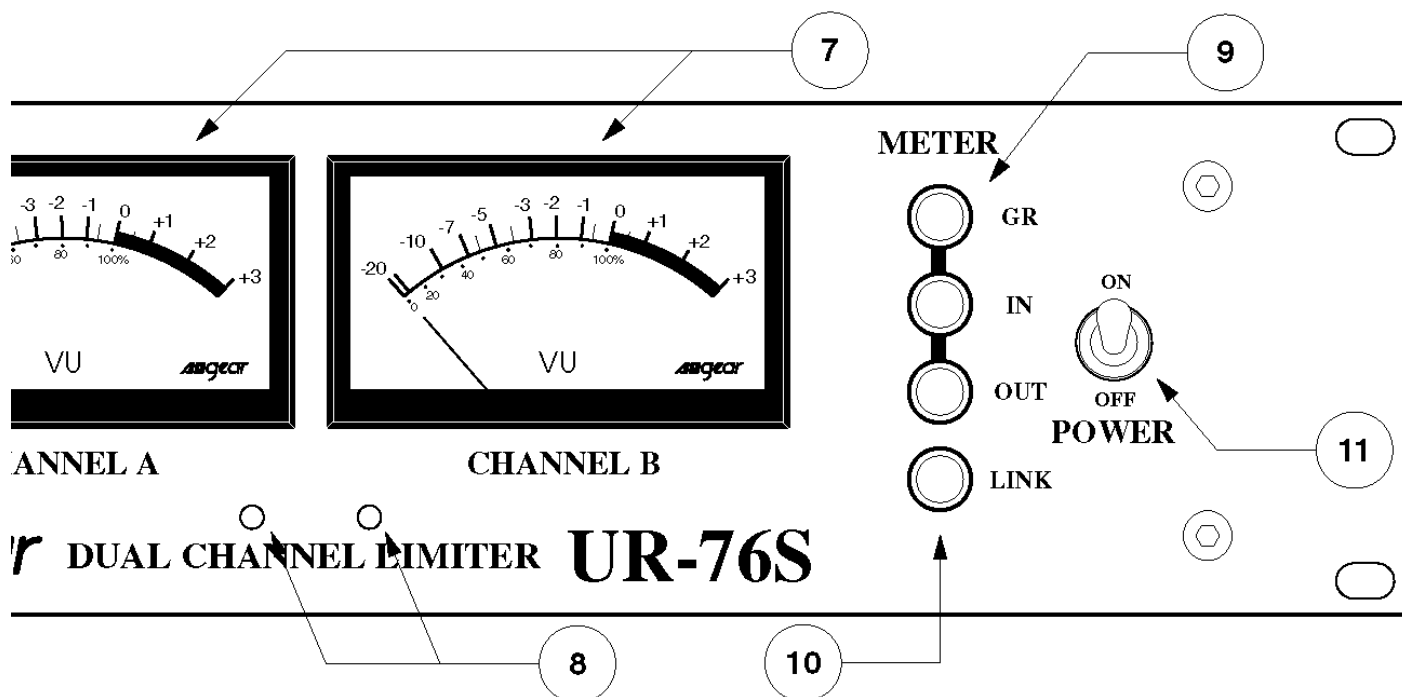
リリースタイム調整用ボリュームです。リミッターの動作後、復帰までの時間を調整します。時計回りにまわすと復帰時間が早くなります。(FAST 80msec/63%)
また、反時計回りにまわすと復帰時間が遅くなります。(SLOW 1.6sec/63%)
使用するプログラムにより最適な位置に調整してください。

6. RATIO(20:1 12:1 8:1 4:1)

リミッターの圧縮比を選択するスイッチです。圧縮比率は入力と出力との比率で 20:1、12:1、8:1、4:1 を選択できます。入出力特性は Page 11 の LIMITER CHARACTERISTIC (特性図)をご参照ください。
RATIO スイッチは、原則的にどれかひとつを選択して使用してください。どれか二つを同時に押して使用することも可能ですが、仕様外ですのの特性的には保証していません。

(注)RATIO スイッチは全ての選択を OFF にするとLIMITER スイッチ OUT 時でもレベルが変化してしまうため、必ずどれかを常に選択しておいてください。

OPERATION



7. CHANNEL A・B VU METER

チャンネル A・B のメーターで、METER スイッチ (Page 6-⑨) で選択された表示 (GR, IN, OUT) で動作します。

GR: ゲインリダクション、IN: リミッター入力、OUT: リミッター出力を表示します。

8. CHANNEL A・B GR メーター0VU アジャスト

VU メーター (Page 6-⑦) を 0VU に合わせます。

各メーターが“GR”を選択し、リミッターが制限動作していない状態 (ゲインリダクション 0dB 時) で、0VU に合わせるように調整します。

その際、LIMITER スイッチは OUT にしてメーターを 0VU に調整してください。

(注) 内部の温度によりメーターの表示が変化しますので、電源投入後およそ 30 分以上エージングを行った後、温度が安定してからメーターを 0VU に調整してください。

9. METER スイッチ

VU メーター (Page 6-⑦) が表示する内容を選択します。

GR (ゲインリダクション)、入力レベル (INPUT ボリュームの後)、出力レベルの中から選択可能です。

GR

リミッターの動作状態を表示します。

スレッシュホールドレベルを越えてリミッターが動作すると、メーターは 0VU から -10VU の方向へ向かってメーターが振れます。

IN

リミッターの入力レベルを表示します。

INPUT-A 又は B で入力レベルを調整できます。リミッターが動作している場合は、入力レベルがどれくらいの状態か確認できます。

RATIO 20:1 の場合 INPUT レベルが 0VU を越えるとリミッターが動作するように設定してあります。

OUT

最終出力レベルを表示します。OUTPUT-A 又は B で出力レベルを調整できます。メーターの振れが 0VU の場合出力レベルが +4dBu になるように設定してあります。リミッターが動作すると相対的にレベルが下がるので、OUTPUT-A 及び B で最適レベルになるように調整します。

10. LINK

チャンネル A・B をステレオで使用する場合 ON にします。

このスイッチを ON にすると、リミッターの制御回路が入力の大きい方のレベルで動作します。

ステレオで使用する場合、チャンネル A・B 別々にリミッターが動作すると、定位が不自然になるため、必ず LINK スイッチを ON にして使用してください。

チャンネル A・B を別々に使用する場合は OFF にしておきます。

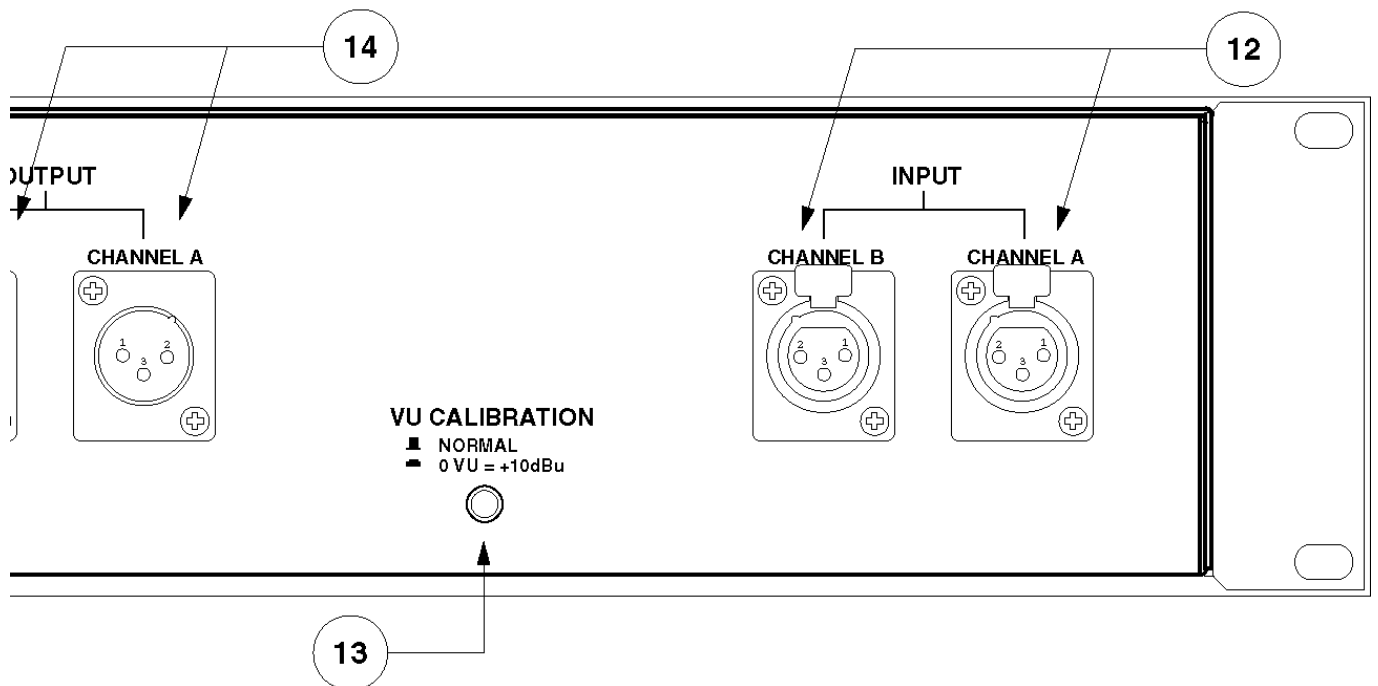
11. POWER

UR-76S の電源スイッチです

(注) 電源スイッチを OFF にすると入出力の信号は断になります。放送の送出にお使いになる場合は、外部にバイパス回路を設置するか、内部バイパス回路 (特注オプション) をご使用になると安全です。

OPERATION

REAR PANEL



12. INPUT-A・B

チャンネル A・B の入力コネクタです。
電子バランス入力です。XLR-3・31 タイプ・2 番ホット

13. VU CALIBRATION

IN 及び OUT の VU メーターの表示を 6dB 下げるスイッチです。

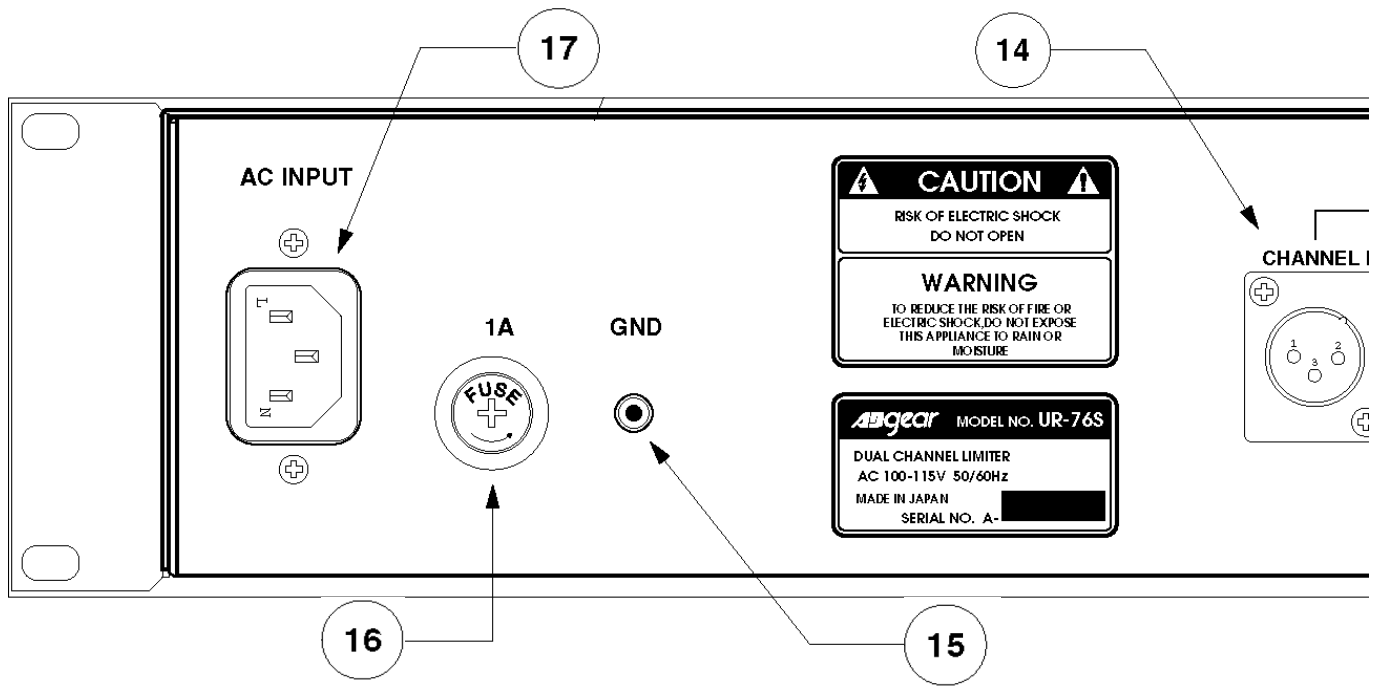
UR-76S は、通常 入力 0dBu・出力+4dBu で 0VU を表示しますが、このスイッチ (0VU = +10dBu) を押すと、入力メーターは +6dBu 入力時に 0VU を表示し、出力メーターは +10dBu 時に 0VU を表示します。

入出力レベルを高めにセットして使用する場合に使用します。

14. OUTPUT- A・B

チャンネル A・B の出力コネクタです。
電子バランス出力です。XLR-3・32 タイプ・2 番ホット

OPERATION



15. GND

シャーシに接続されています。

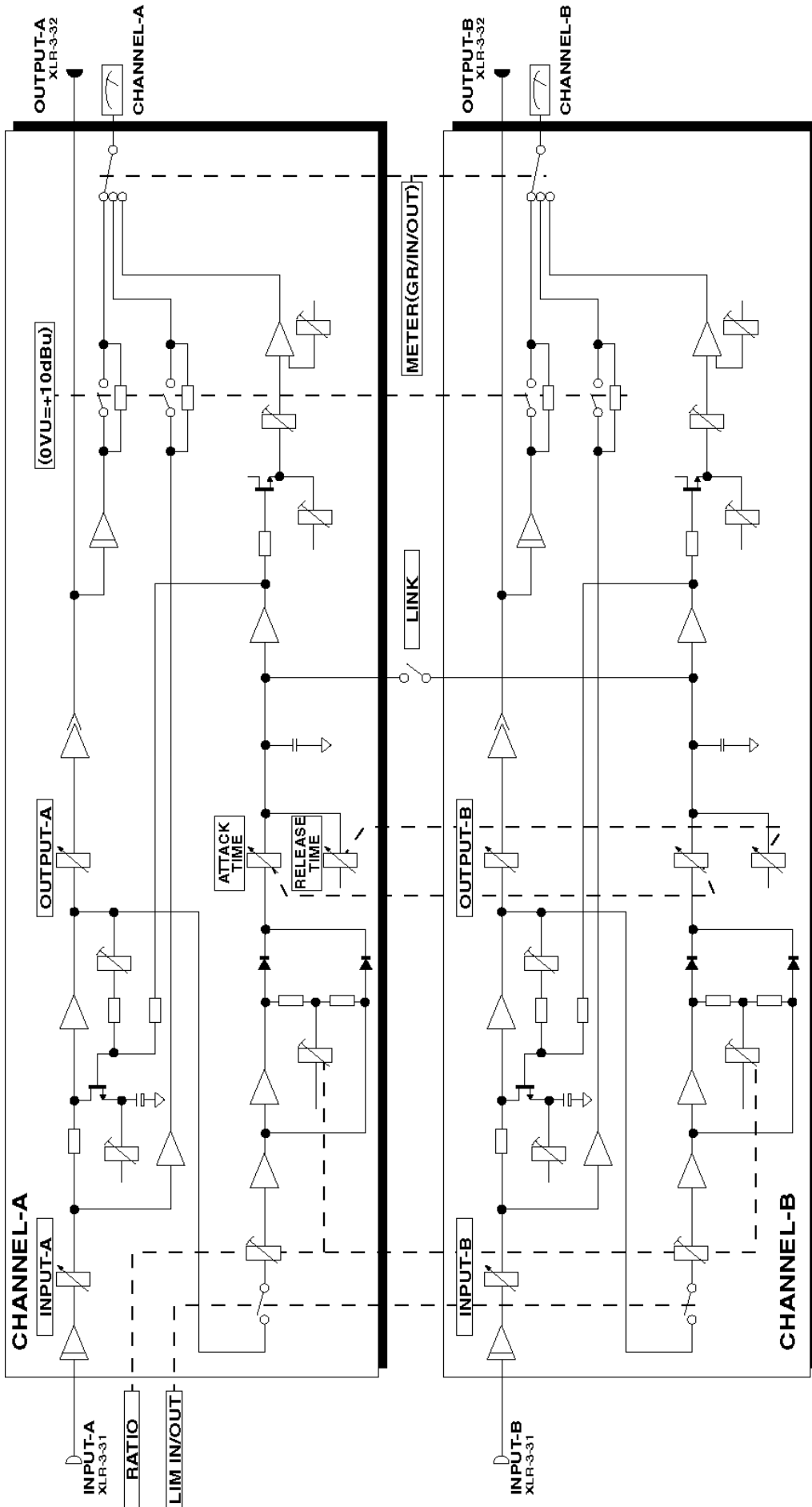
16. FUZE

1A の管ヒューズを使用します。

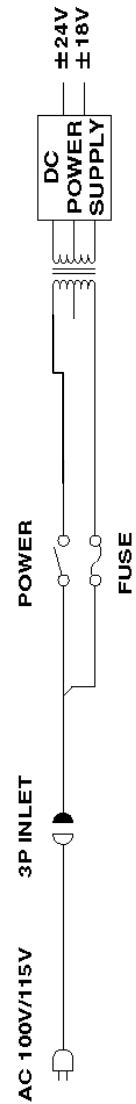
17. AC INPUT

AC100V(115V)を供給します。

BLOCK DIAGRAM



UR-76S ブロック図

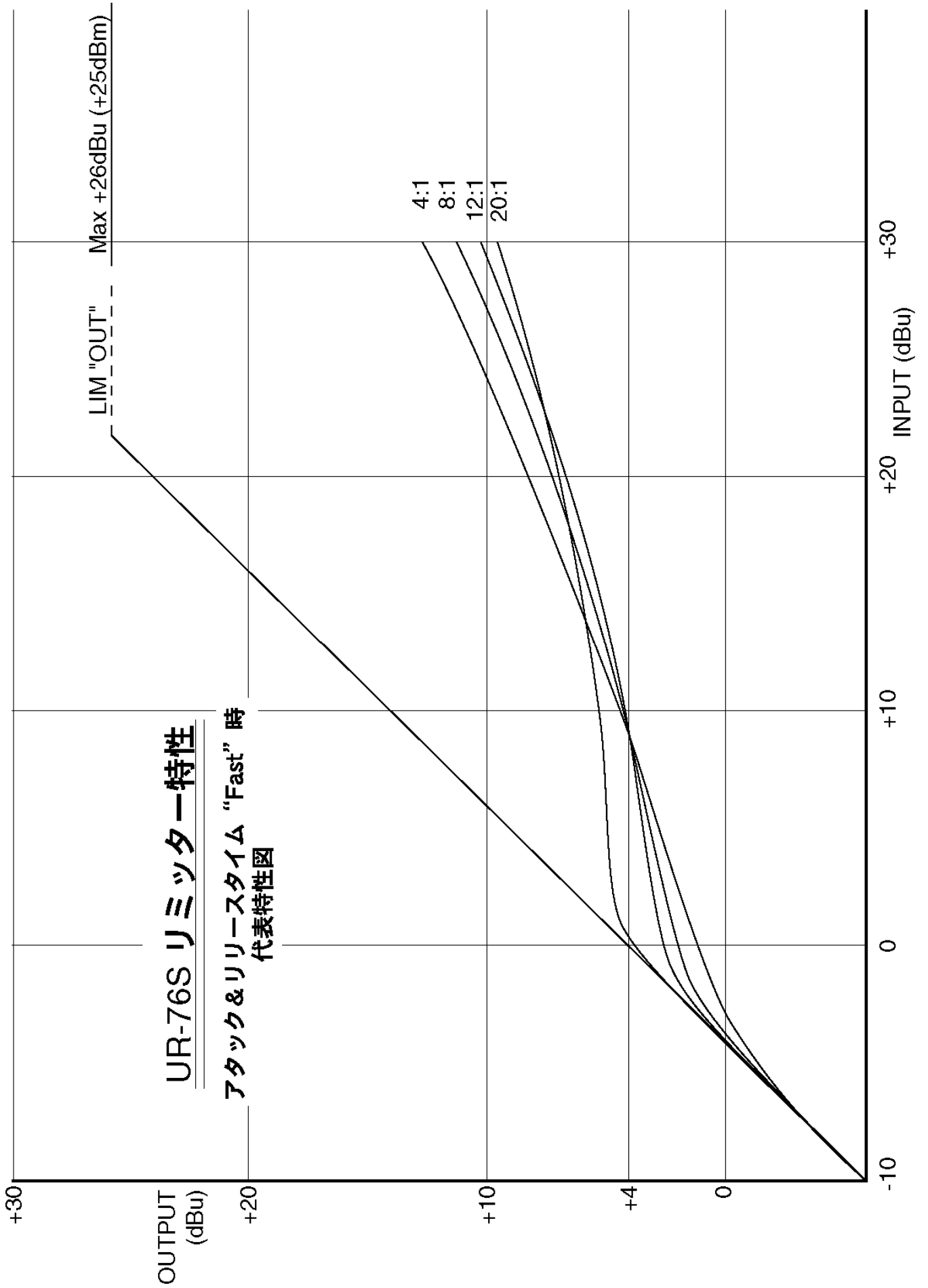


TECHNICAL SPECIFICATIONS

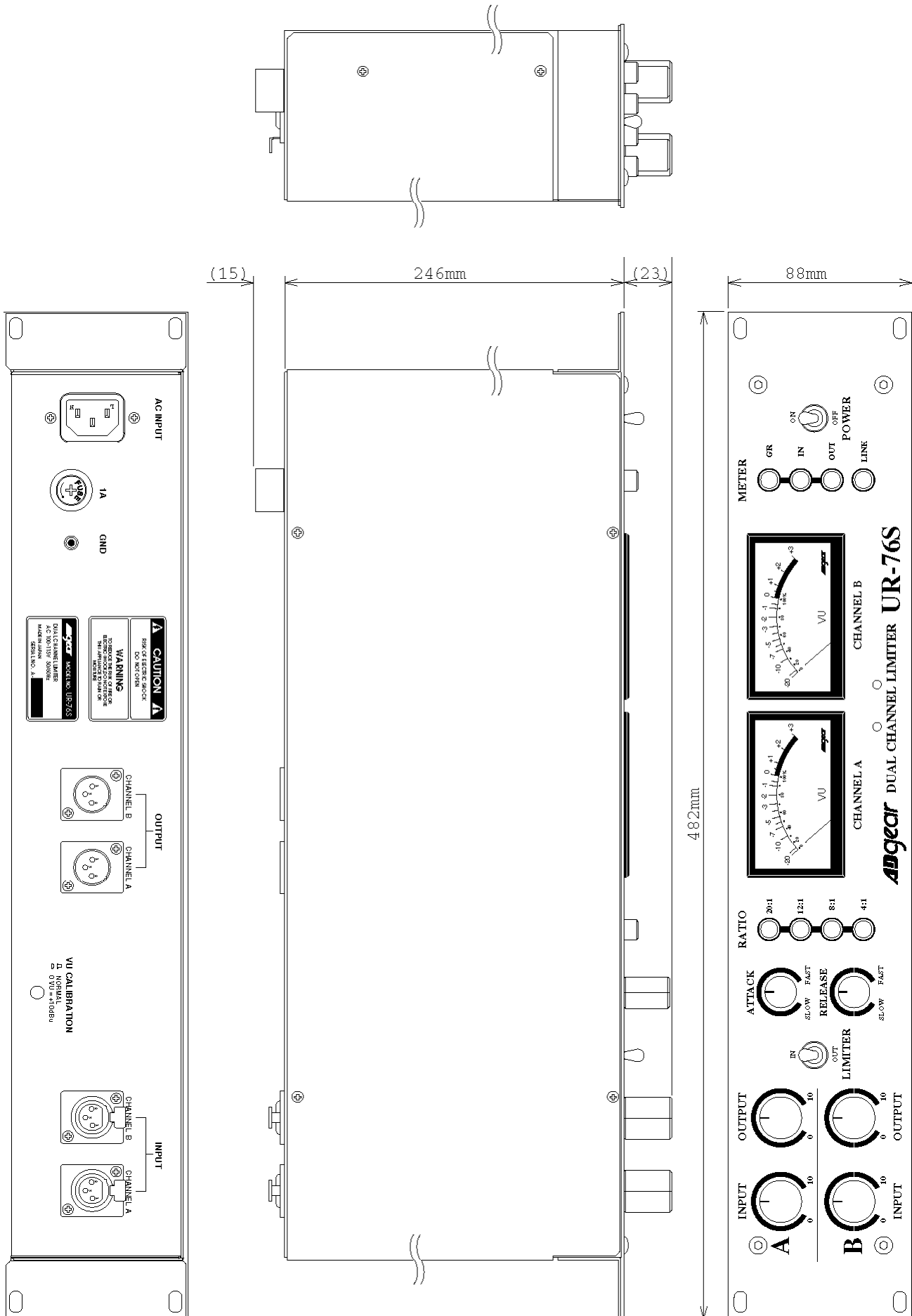
※0dBu=0.775V

入力	基準レベル	0dBu
	最大入力レベル	+30dBu (LIM ON 時)
	入力インピーダンス	20k Ω 電子バランス入力
出力	基準レベル	+4dBu
	最大出力レベル	+26dBu
	最小負荷インピーダンス	600 Ω
	出力インピーダンス	50 Ω 以下 バランス出力
周波数特性	20Hz~30kHz(\pm 0.5dB 以内)	
歪率(LIM ON 時)	+10dBu 入力時	0.5%以下(1kHz/REL:S)
	+20dBu 入力時	0.7%以下(1kHz/REL:S)
ゲイン	基準位置にて	+4dB (IN, OUT VR -15dB 位置)
	最大ゲイン	+34dB (IN, OUT VR MAX)
S/N 比	80dB 以上 (22Hz~22kHz BPF 使用)	
アタックタイム	150 μ sec~2msec (REL:F/90%)	
リリースタイム	80msec~1.6sec (ATK:F/63%)	
コンプレッションレシオ	20:1, 12:1, 8:1, 4:1	
消費電力	AC100V 50/60Hz 最大 40VA	
サイズ	EIA 19 インチ・2U 482(W) \times 88(H) \times 260(D)mm (但し突起物は除く。外観図参照)	
重量	約 5kg	
構成	本体	\times 1
	電源ケーブル (3P タイプ)	\times 1
	予備ヒューズ (1A)	\times 1
	インストラクションマニュアル	\times 1

LIMITER CHARACTERISTIC



APPEARANCE



WARRANTY 製品の保証について

この度は、アイコニック製品をお買い上げ頂きまことにありがとうございます。
当社製品は下記の通り保証・サービスをさせていただきます。

御購入後1年間を保証期間とし、この期間中に正常な御使用状態で故障した場合は、無償で修理致します。

製品が故障して修理をお申し付けの場合は、故障前後の御使用状況を詳細にお知らせくださる様、お願い致します。

無償修理は、原則として機器をお持込みによるものと致します。運送業者に依頼される場合は、荷造り等に充分御注意下さる様お願い致します。この時、保険を掛ける事をお奨め致します。輸送中の事故は保証範囲に含まれません。

遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する費用を別途お申し受け致します。

保証期間後も、サービスは有償となりますが、引続きアイコニックが責任を持ってサービスさせていただきます。

iconic
ADgear

▼ お問い合わせ ▼

株式会社 アイコニック

〒205-0011 東京都羽村市五ノ神1-15-7

Tel.042-579-0520 Fax.042-579-0529